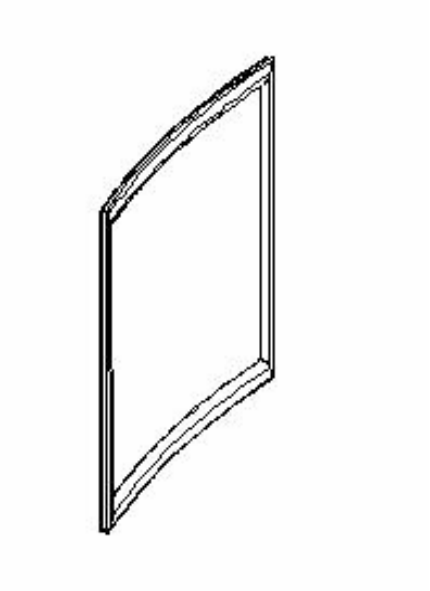
PA-LC 組立・張スクリーン
カーブドタイプ

設置・取扱説明書



お客様へ

本機の取り付けについて、作業に慣れないとき、下地の有無など不明なとき、コンクリートに設置するときは取付専門業者に設置を依頼してください。

- 取付専門業者につきましては、販売店および当社にお尋ねください。
- 工事を請け負われた工事業者のかたは設置完了後、この説明書をお客様へお渡しください。

お使いいただく前に

スクリーンは使い始めのうちは臭いがします。窓を開けるなどして十分に換気をおこなってください。こまめな換気により臭いは次第に弱くなります。
（臭いが気にならなくなるまで数日かかる場合があります。）

もくじ

安全上のご注意・・・・・・・・・・・2〜3
付属品の確認・・・・・・・・・・・・・ 4
本機の構成と各部のなまえ・・・・・・ 5
取付工事上の留意点・・・・・・・・・ 6
お取扱上の注意・・・・・・・・・・・・ 6
組立要領・・・・・・・・・・・・・・・7〜9
設置要領・・・・・・・・・・・・・・ 10〜11
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・12

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

■ この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

安 全 上 の ご 注 意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

⚠ 警告

長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

長期使用により設置場所の強度が不足すると本体が落下してけがの原因となります。

荷重に耐えられない場所に取り付けない

取付部の強度が弱いと本体が落下してけがの原因となります。

設置作業は必ず二人以上で行なう

本体が倒れたり、破損してけがの原因になります。

スクリーンは正しく設置する

不安定な取り付けをすると、本体が倒れたり、破損してけがの原因になります。

ねじ止めの箇所はすべてしっかりと締め付ける

不十分な組み立て方をすると、強度が保てず倒れたり、破損してけがの原因になります。

⚠注意

スクリーン枠の角などに寄りかからない

倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

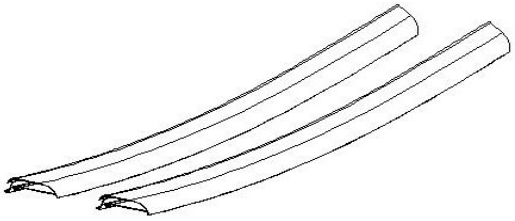
スクリーンに鋭利な刃物、尖った金属等を近づけない

破損の原因になります。

■　取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

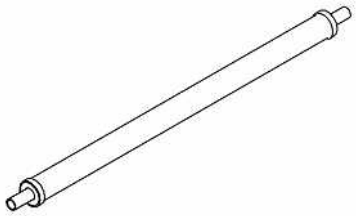
付属品の確認

■ 設置・取り扱いの前に必ず確認してください。
■ ※は PA-150LC の場合の部品数です。



上下枠(長曲)　×2

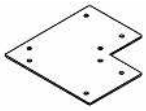
左右枠(短)　×2



スクリーンシート　×1

スクリーン取付金具

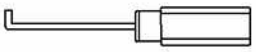
PA-120LC～PA-140LC	L=350	6
PA-150LC	L=1500	4



L 型金具　×4

コーナー固定金具　×4

壁面取付プレート　×6(8)※

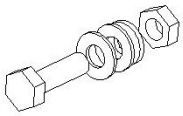


スプリング取付用工具　×1

ねじ A　×48(64)※

ねじ B　×6(8)※

ねじ C　×12



六角ボルト・ナット　×6(8)※

取付金具 S　×2(0)※

取付金具 M　×4※

取付金具 L　×4

スプリング

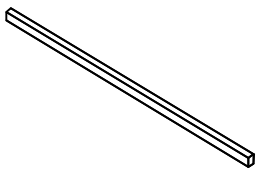
スプリング個数表	120LC	130LC	140LC	150LC
	68	72	76	80

スプリングは予備として、使用する数より多く入っています。

フレーム補強部品(PA-150LC に同梱)

フレーム補強金具　×4

フレーム補強プレート　×4

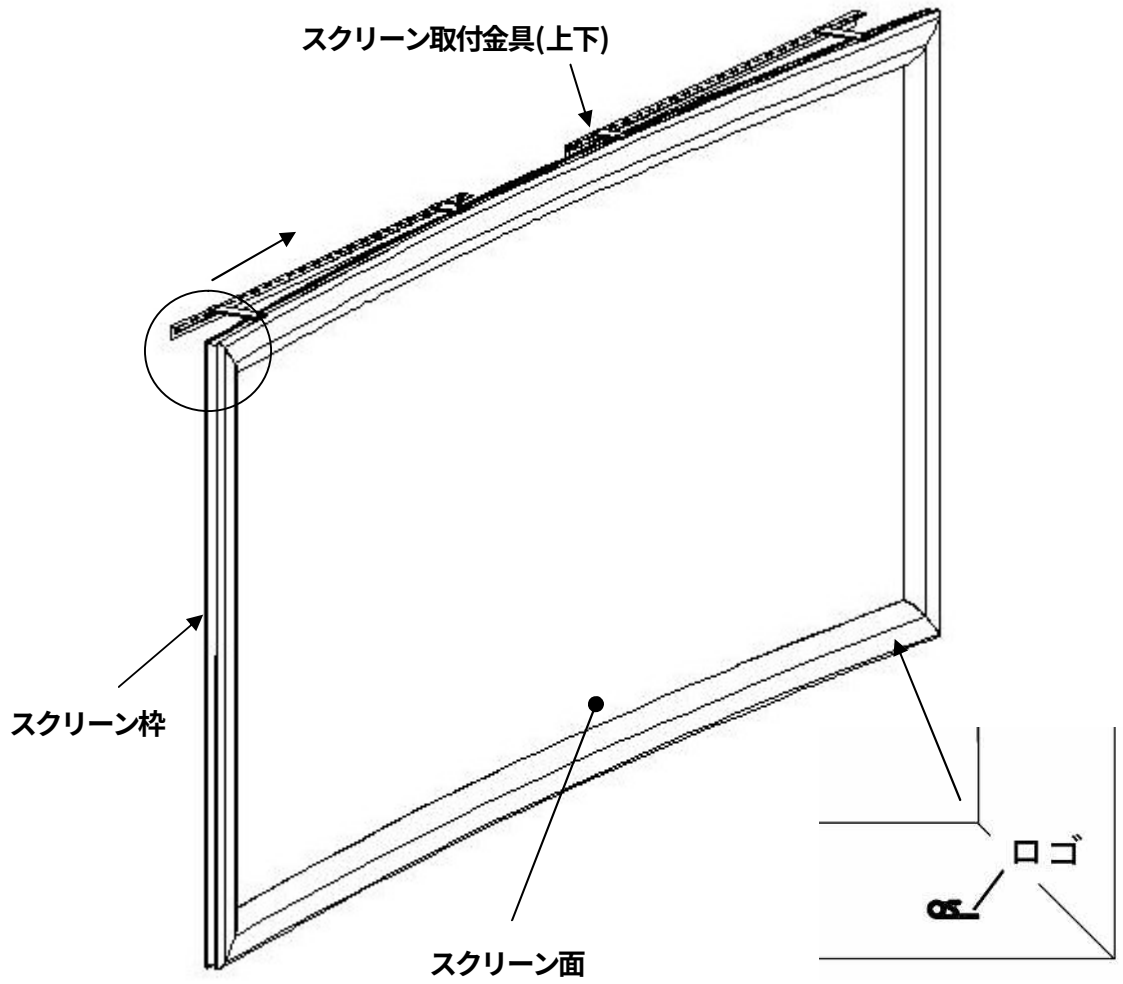


フレーム補強角パイプ　×2

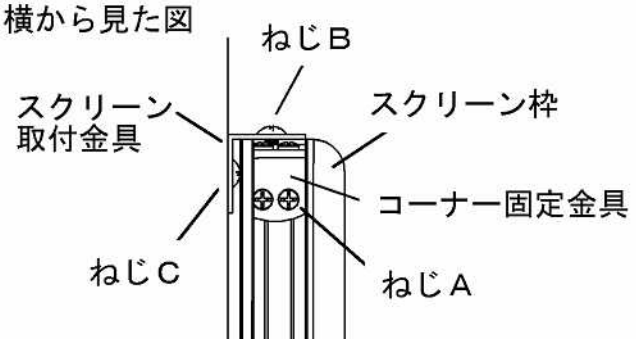
ねじ D　×8

本機の構成と各部のなまえ

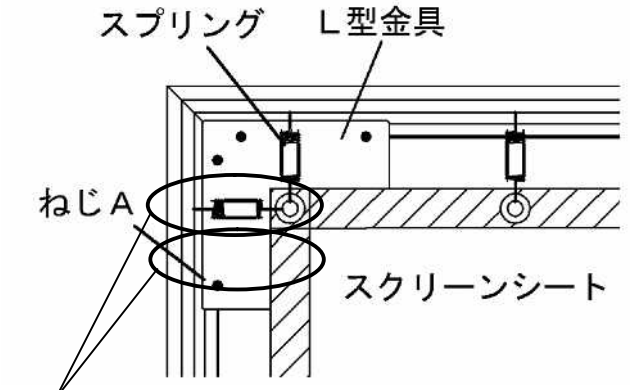
下図の部品で構成されていますので、付属品と合わせて組立・設置・取り扱いの前に確認してください。



■横から見た図



■裏面



縦方向のスプリングは上部、下部とも 2 個目まで取付のこと。
（中間部は曲面再現のため取り外してください）
ただし、スクリーン面をみて調整願います。

取付工事上の留意点

■ スクリーンの性能保障やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。

- 振動や衝撃の加わるおそれのある所
- 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
- 暖房機器の風が当たる所

■ 取付場所の構造や材質に合った方法で取付工事をおこなってください。

■ 取付工事中に製品や床に傷が付かないようにやわらかい毛布や布を使い作業してください。

■ ねじ止めする時は、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。

■ 取付工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。

■ 取り付けはできるだけ水平に取り付けてください。

> ⚠ 警告　**本機の設置面は、仕様に記載しているスクリーン質量を長期間支える強度が必要です。また、石こうやパーティクルボード面には補強が必要です。設置面の強度が不足していると本機が脱落する原因になります。**

お取扱上の注意

■ この製品は映写効果を上げるため、スクリーン表面に特殊な加工が施されています。汚れや傷がつきますと映写効果を損なうことがありますので、次の点にご注意の上、ていねいにお取り扱いください。

- スクリーン表面には手を触れないでください。
- スクリーン表面に文字や絵を描いたりしないでください。
- 固い物でスクリーンをこすったり、ひっかいたりしないでください。
- 表面のほこりは、乾いた柔らかい布で軽くふくか、柔らかいブラシで払ってください。

> ⚠ 注意　**スクリーン表面は、水で湿らせた布やベンジン、シンナー等の薬品類は使用しないでください。映写効果を損なう原因になります。**

※ スクリーンは使い始めのうちは臭いがします。窓を開けるなどして十分に換気をおこなってください。こまめな換気により臭いは次第に弱くなります。

組立要領

〔はじめに〕　必ず軍手や手袋などで手を保護してから組み立てを行ってください。
部品には取付箇所、取付方向が決まっていますので、図および説明文をよく確認の上、設置してください。

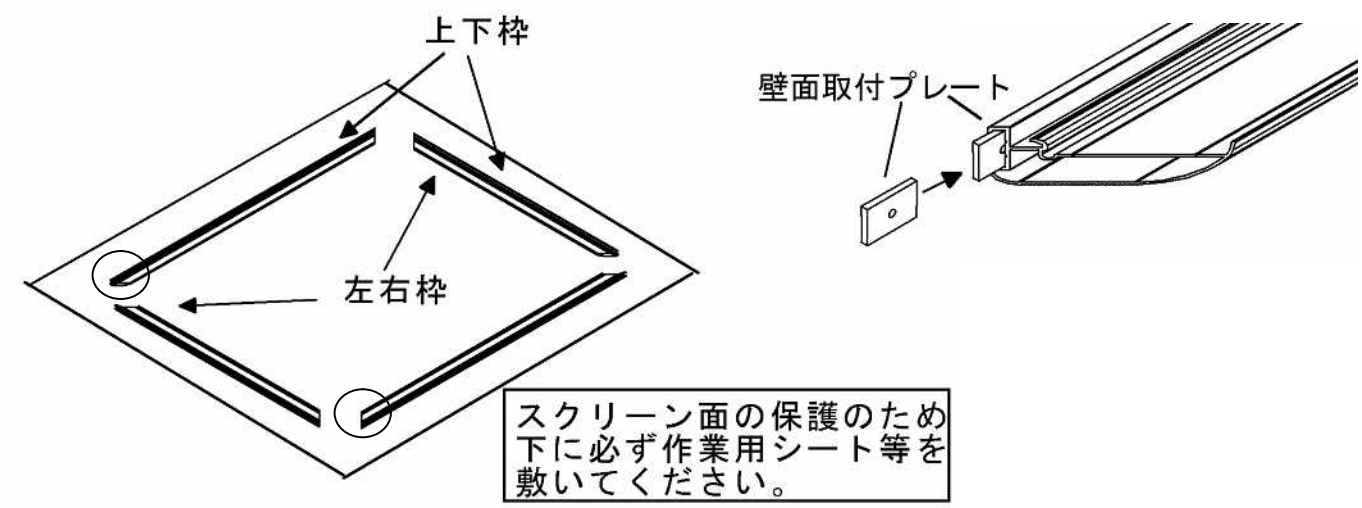
> ⚠ 警告　**組み立ての際は手や指を挟まないように注意し、ストーブやコンロなど火気のある場所での組み立ては避けてください。**

1. スクリーン枠の組み立て

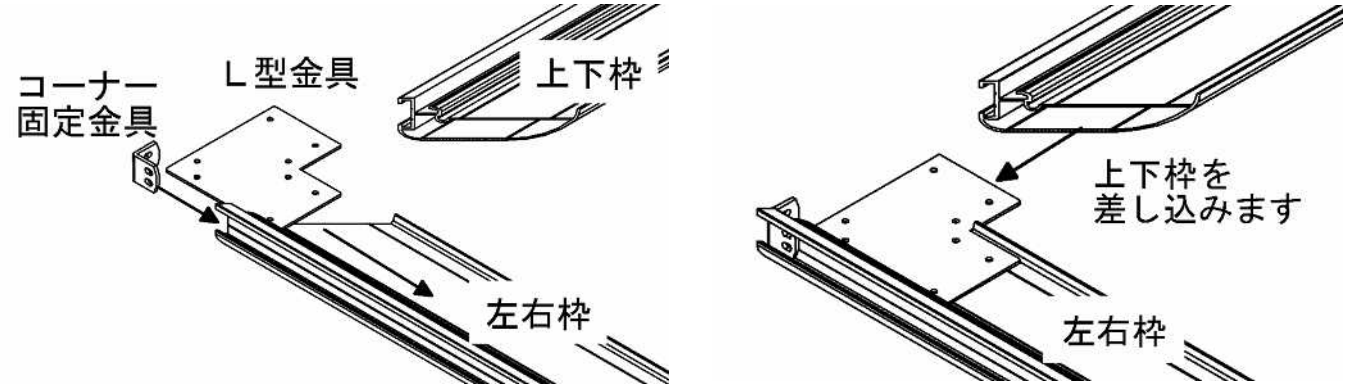
別途ご用意していただくもの

- 作業用シート(スクリーン面の保護のため)

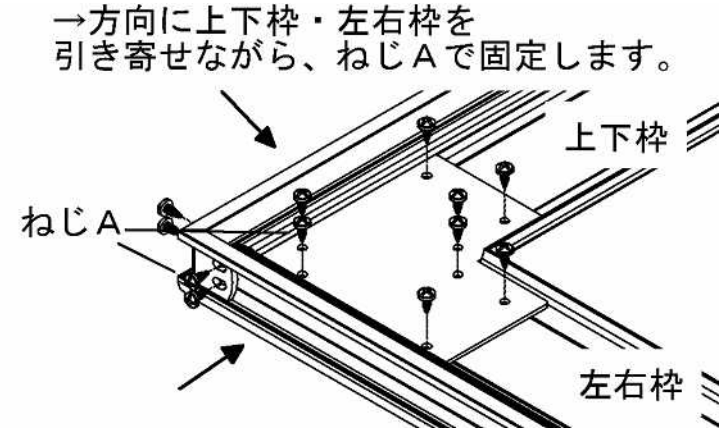
1)　作業用シートの上に上下枠・左右枠の前面を下にして置きます。次にスクリーン枠上下のスロットに壁面取付プレートを各 3 個入れます。【PA-150LC は各 4 個】



2)　左右枠の溝(裏面)に合わせてＬ型金具を差し込みます。次にコーナー固定金具を左右枠のスロットに差し込み、上下枠と合わせます。



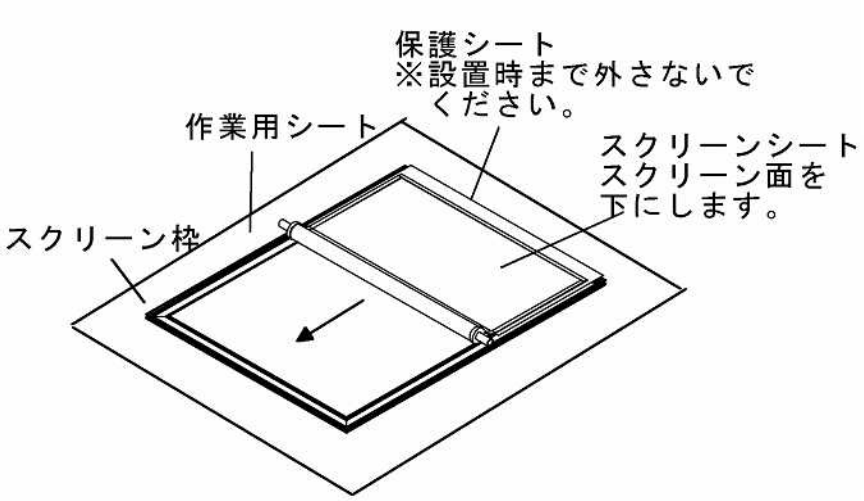
3) 4 箇所のコーナー位置を合わせながらＬ型金具をねじＡで仮止めします。その後、コーナー固定金具と共に左右枠・上下枠を固定します。

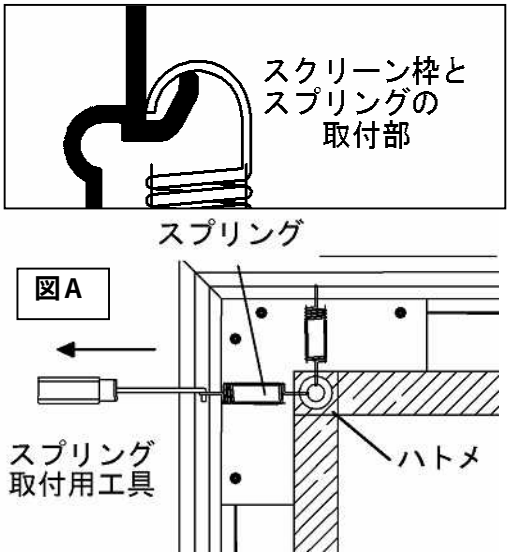


2. スクリーンシートの取り付け(PA-120LC～140LC の場合。PA-150LC の場合は P9 参照)

⚠注意 スクリーンシートを開く時は折り目やシワがつかないように注意してください。映写効果を損なう原因になることがあります。

1) スクリーンシートを組み立てたスクリーン枠の上に置きます。スクリーンシートを開く前にスクリーンシート角部分の保護シートを破り、図Ａのようにスクリーンシートの角とスクリーン枠のコーナーを 2 本のスプリングで固定します。次に、ゆっくりとスクリーンシートを ← の方向に広げていきます。



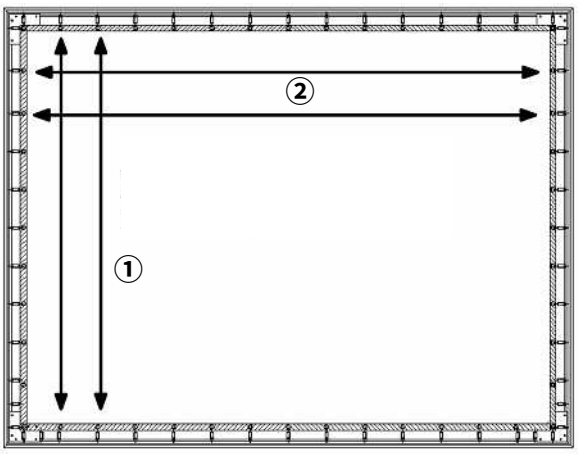


2) スクリーンシートを広げたら、同じようにスクリーンシート角部分の保護シートを破り、スクリーンシートの角とスクリーン枠のコーナーを 2 本のスプリングで固定します。

3) 残りのスプリングで<u>①上下の向かい合ったハトメを同時に</u>取り付けていきます。

4) 左右(縦方向)のスプリングは上部、下部とも二個目までの取り付けてください。

※左右(縦方向)のスプリングの中間部は、曲面再現のため取り外してください。(ただしスクリーン面をみて調整のこと)

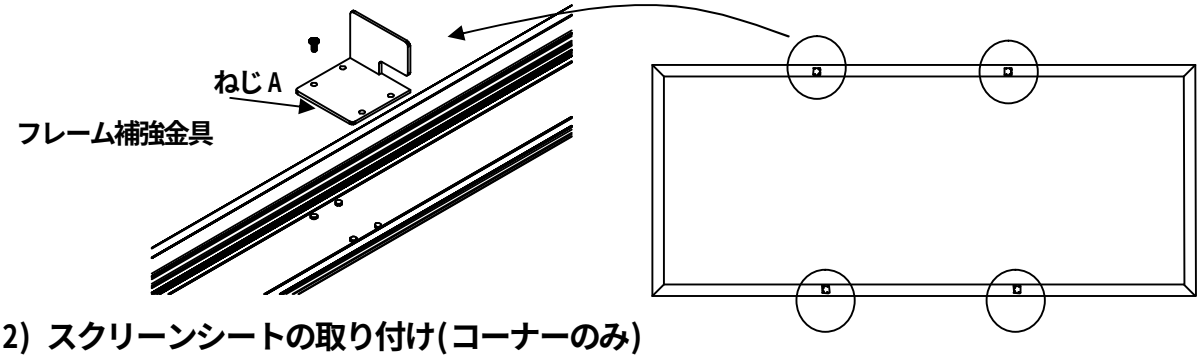


2．フレーム補強の取り付けとスクリーンシートの取り付け

※PA-150LC に必要な作業です。その他の場合は P10 設置要領に進んでください。

1) フレーム補強金具の取り付け(計 4 箇所、ねじ A 16 本使用)

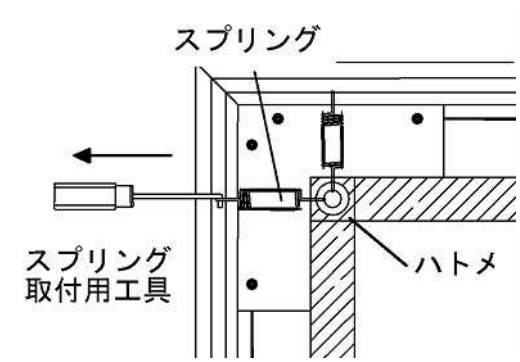
※取り付けるのはフレーム補強金具のみでフレーム補強角パイプはここでは取り付けません。

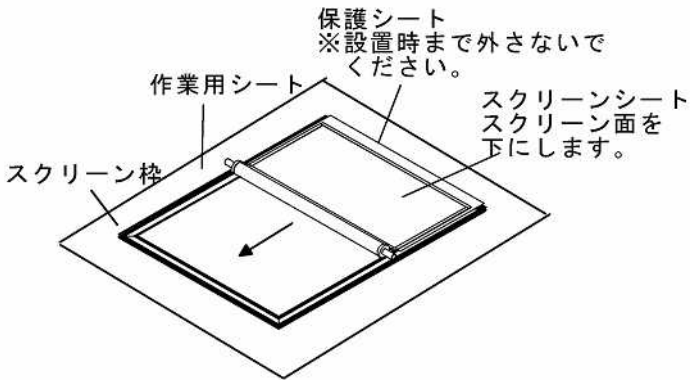


2) スクリーンシートの取り付け(コーナーのみ)

2)-1 スクリーンシートを展開します。この時、二人で巻き芯両端部を持ち、スクリーンシートに折り目がつかないように少し浮かせながら広げ、スクリーンシートの角とスクリーン枠のコーナーを 2 本のスプリングで固定します。次に下右図のように、ゆっくりとスクリーンシートを 広げていきます。

※保護シートは設置時まで外さないで下さい。また、保護シートがスクリーンシートとフレーム間に挟まらないよう、スクリーンシート端から飛び出している保護シートは破って取り除いてください。

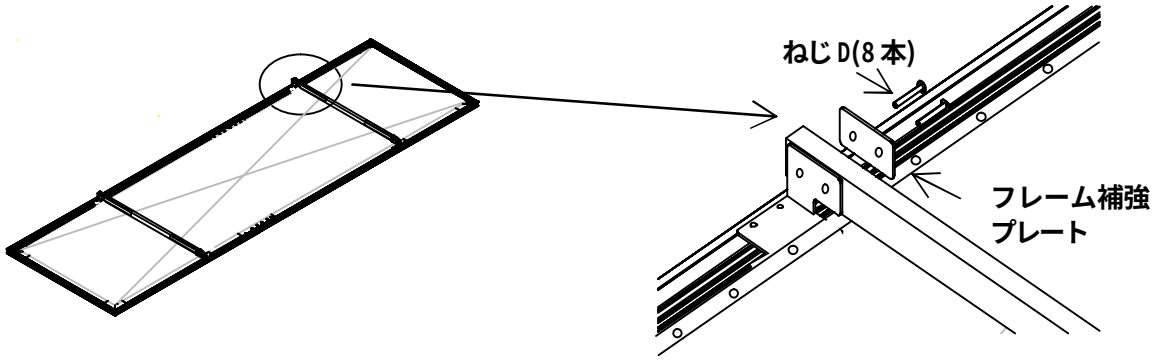




2)-2 スクリーンシートを広げたら、スクリーンシート端から飛び出している保護シートを破って取り除きます。スクリーンシートの角とスクリーン枠のコーナーを 2 本のスプリングで固定します。

3)フレーム補強角パイプの取り付け

フレーム補強角パイプを、1.のフレーム補強金具に取り付けます。

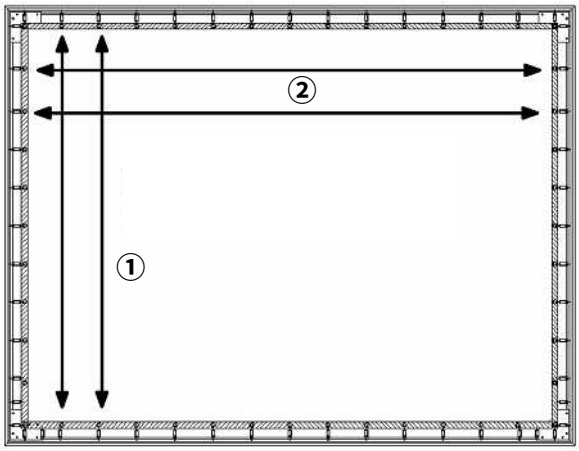


4)スクリーンシートの固定

残りのスプリングで①上下の向かい合ったハトメを同時に取り付けていきます。

・左右(縦方向)のスプリングは上部、下部とも二個目まで取り付けてください。

※左右(縦方向)のスプリングの中間部は、曲面再現のため取り外してください。(ただしスクリーン面をみて調整のこと)

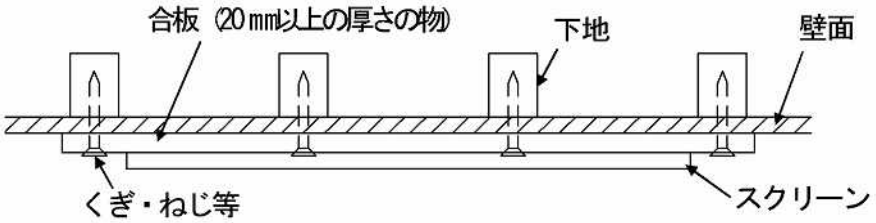


設置要領

設置の前に壁面の取付位置に頑丈な間柱があることを確認してください。

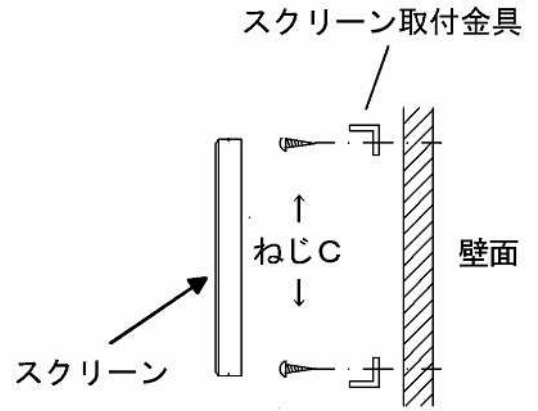
警告　本体の設置は、壁の下地の厚みが 20㎜ 以上必要です。下地の厚み不足、ねじの締め付けが不十分ですと落下のおそれがあります。

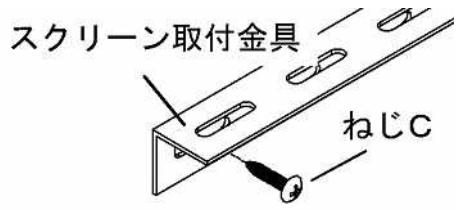
■ 補強の例



お客様へ
設置場所によって付属のねじで取り付けられない場合は、取付面の材質およびスクリーン取付金具の長孔に適合するねじおよびアンカー等を別途ご用意ください。

1)　スクリーン取付金具(上下各 1)を壁面にねじCで取り付けます。この時、取付金具が水平になっていることを確認してから取り付けてください。

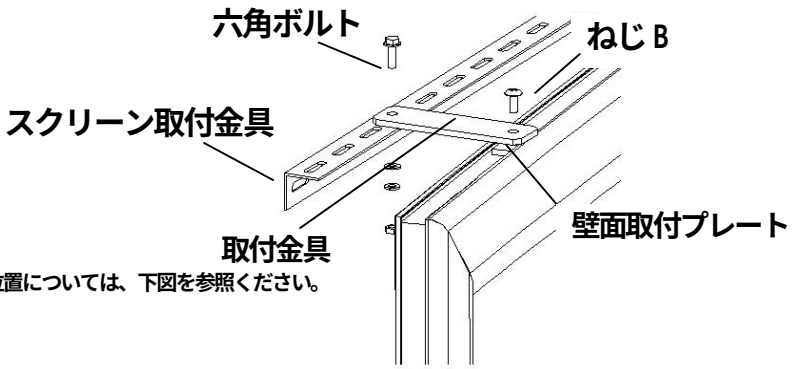




1)　スクリーンの表面に触れないように保護シートを取り外します。

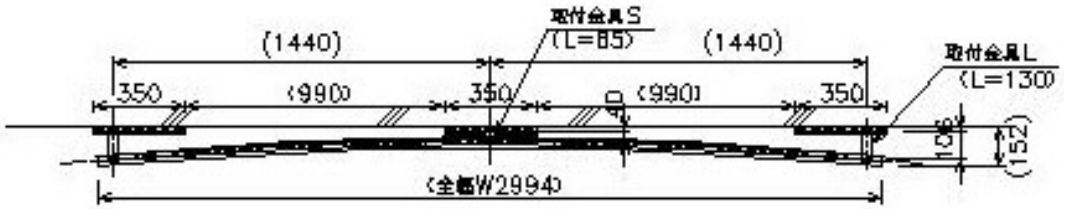
2)　スクリーン枠(上下)とスクリーン取付金具の中心を合わせ、スクリーン枠(上下)の壁面取付プレートを 1)で取り付けたスクリーン取付金具(上下)の両端の長孔に合わせます。

3）スクリーン枠をスクリーン取付金具にねじ B および六角ボルトにて固定します。

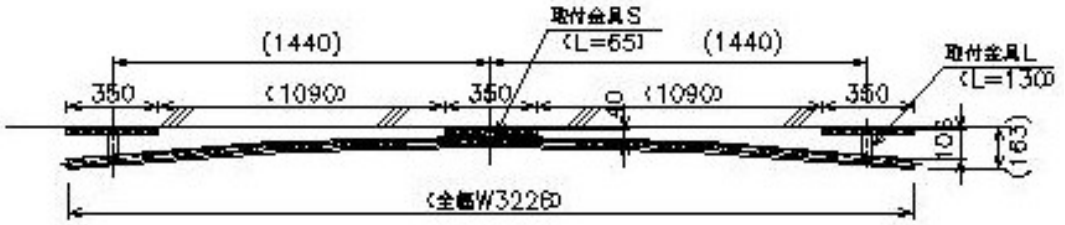


※取付金具のＳ・Ｍ・Ｌ位置については、下図を参照ください。

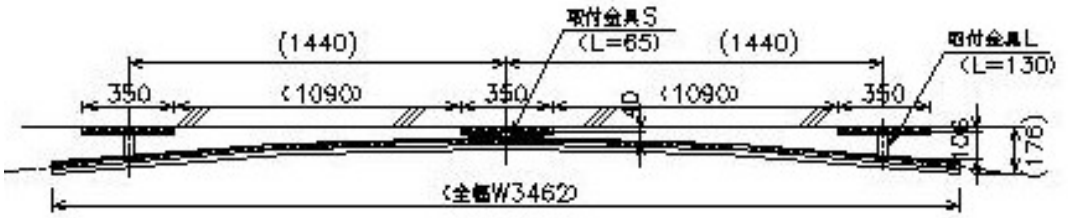
PA-120LC



PA-130LC

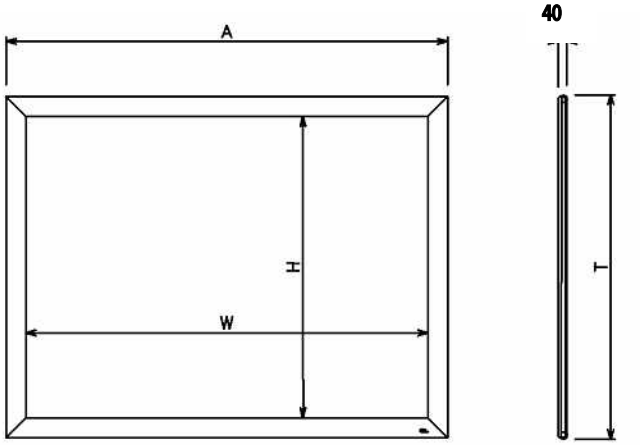


PA-140LC



PA-150LC

仕　様



型 式	サイズ W×H (mm)	全 長 A (mm)	全 高 T (mm)	質 量 (kg)
PA-120LC-02	2795×1193	2994	1397	13.5
PA-130LC-02	3029×1294	3228	1498	14.5
PA-140LC-02	3263×1393	3462	1597	15.5
PA-150LC-02	3492×1491	3690	1695	16.5

仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。
黒色フロッキー加工フレームです。

■　故障の場合

修理が必要な場合は、取扱店またはコンタクトセンターまでご連絡ください。
この『設置・取扱説明書』を汚されたり紛失されたりした場合は取扱店またはコンタクトセンターまで連絡して、内容を確認のうえ、請求してください。
この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書をかならず添付して譲渡してください。

保証書

品名 組立・張込スクリーン　カーブドタイプ

お 客 様 名 ：　　お 取 扱 店 ：

ご購入年月日：　　住 所 / TEL ：

保証期間 ご購入の日より	本体　1ヵ年

1.保障期間内であっても次の場合は有償修理となります。
(1)この保証書のご提示がない場合。
(2)保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
(3)ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
(4)お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
(5)火災や天災等による故障および損傷。
(6)消耗品および付属品の交換の場合。
(7)スクリーン表面の汚れ・損傷に関する修理。
2.その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。

■ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。

※　この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、 取扱店または下記コンタクトセンターまでお問い合わせください。

株式会社オーエス
株式会社オーエスプラスe
コンタクトセンター
〒120-0005　東京都足立区綾瀬 3-25-18　　E-mail：info@os-worldwide.com
TEL：0120-380-495　FAX：0120-380-496　　※フリーダイヤルに接続できないお客様は、ご面倒ですが下記電話番号までおかけください。
(受付時間：平日 9：00～18：00　※土日祝日を除く)　　TEL：03-3629-5211　FAX：03-3629-5214